

こんな
活動です

米作りからくらしをみつめよう(有明オリジナル米作り)

関係する学校名

荒尾市立有明小学校

連携・協力団体等

有明地区資源環境を守る会、有明小学校運営協議会、有明小 PTA

活動内容・特徴や工夫等

5年生が社会科で米作りについて学習を行った。それを受けて、総合的な学習の時間に、自分たちでも米作り体験をして、米作りに携わっておられる人々の願いや思いについて学習することとなった。

【学校田提供と米作り指導】

長年、有明小学校の米作りに協力をいただいている「有明地区資源環境を守る会」の学校田の提供と米づくり指導をお願いした。事前に苗作り、田おこし、代掻き等をしていただき、手植えによる田植えを体験することができた。初めて水田に足を踏み入れた児童がほとんどで、歩きにくさや作業のしにくさ、田植えの姿勢の苦しさを体感することができた。



(田植えの様子)



(集合写真)

台風の接近等で被害が出るのではないかと心配したが、稲が倒れることなく、稲刈りを行うことができた。のこ鎌による稲刈りだけでなく、コンバインの運転体験までさせていただき、貴重な学びができた。収穫したお米は、4年ぶりに開催された有明ふれあいフェスタで食バザーの材料として提供し感謝された。また、販売も行い、約80袋(1袋 2kg)を完売することができた。さらには、いつも有明小学校の教育活動に協力していただいている方にメッセージをつけて配ったり、自分たちで調理して食べたりする活動も行った。



(稲刈りの様子)



(コンバイン運転体験)



(お米の販売:有明ふれあいフェスタ)



《成果》・米作りの苦労や収穫の喜びを味わうことができた。また、地域の方々の協力のおかげで様々な学習や体験をすることができていることに気づくことができた。

《課題》・田植え、稲刈りだけでなく、苗作りや脱穀、精米の活動も少しでも取り入れたい。また、米作りでお世話になった方々をお招きして、お礼の気持ちを伝える場を設けるなど、交流活動の在り方を工夫した

こんな
活動です

五者連携でみんなを「笑顔」にしよう
地域貢献 5年 「三中校区作品展・アール・ブリュット展」
地域参画 6年 地域行事:「みどりまつり」

関係する学校名

荒尾市立緑ヶ丘小学校

連携・協力団体等

緑ヶ丘小学校運営協議会、地区協議会、緑ヶ丘小 PTA、地域住民、民生委員、行政

本校は、学校運営協議会の基本方針の一つである「五者にとって Win & Win (みんな笑顔) を可能にする取組を企画する」のもと、学習で「地域貢献」「地域参画」による活動を設定し、児童の主体的な学習を計画している。取組内容については、毎年、学校運営協議会で提案・協議し、成果と課題についても報告している。



★5年生は、地域とつながるプロジェクトとして、2回目の地区協議会からの資金援助による「アール・ブリュット展・三中校区作品展」を開催した。多様性、障害者理解につながる取り組みとなった。

★6年生は、地域行事「みどりまつり」に参画し、運営・企画を行っている。今年は、前日はボランティアで準備に参加し、当日は、司会進行、4つの出店ブースで地域を盛り上げた。

みどりまつり



日程: 11月19日(日)
時間: 9時30分~15時
場所: 緑ヶ丘小学校体育館
駐車場: シティモール A 駐車場

最優秀ポスター



《成果》児童が、主体的に活動できる体制が整ってきている。児童の取り組みのアイデア等を学校運営協議会で協議してもらうことで、共通認識のもと安心して活動ができる。また、児童のアイデア等が大切にされることで、主体的、積極的な取り組みにつながっている。

《課題》地域の都合により、「みどりまつり」の開催日変更があった。学校としては、そのような変更も視野に入れておく必要がある。作品展では、地域の方に広く呼びかける宣伝方法を考え、より多くの方とつながっていきけるようにしたい。

こんな
活動です

中央感謝祭 2023. 11. 25

中央小学校の6年生が、自分たちが暮らす大好きな「荒尾市」そして
大好きな「中央小校区」の素晴らしさをたくさんの人にアピールする

関係する学校名

荒尾市立中央小学校

連携・協力団体等

中央小学校運営協議会、中央小学校PTA

活動内容・特徴や工夫等

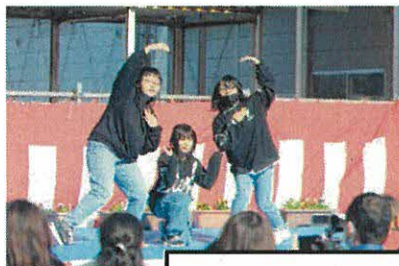
6年生は今年度初めて総合的な学習の時間に、中央感謝祭を企画・実行した。
中央小校区にある様々な仕事を知り、自分たちの手で地域を盛り上げることを通
して、自己有用感を得て自分たちの住む校区に誇りをもつことをねらいとした。

◇ステージの部

ステージ上での出し物を考えたり、準備・実行したりすることで、企画・運営
の力をつけることができた。



6年生「祝いMEDETA」



6年生有志によるダンスパフォーマンス



◇出店の部

感謝祭で出店するために、仕入れや販売の仕組みを知って広報したり、売れる
ための店作りをしたりして、物の販売の仕方を体験的に学習することができた。



スーパーボールすくいコーナー



もぐらたたきコーナー



射的コーナー

《成果》初めての試みであったが、6年生が準備から当日の運営まで主体的に取り組み、全員が活躍することができた。参加された方々からも、たくさんお褒めの言葉をいただいた。

《課題》出店の部では、からあげや焼き鳥などに行列ができ、早い段階で売り切れてしまっていて買えなかったという声もあった。次年度にぜひ生かしていきたい。

こんな
活動です

なし博士にない隊

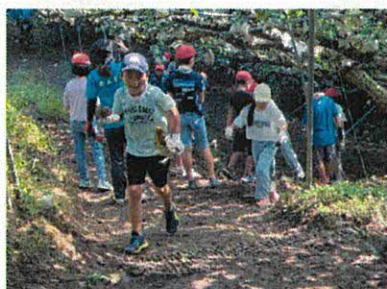
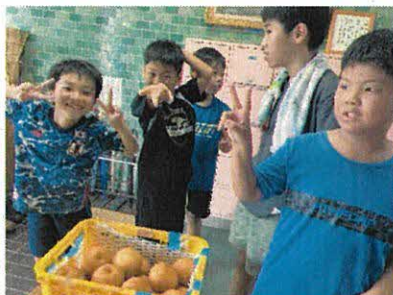
関係する学校名

清里小学校

連携・協力団体等

徳山 孝介さん

活動内容・特徴や工夫等



本校4年生は、徳山さん（学校運営協議会委員）の梨園で、毎年、なしの栽培のお手伝いをしながら、地域の特産品の「博士」になれるよう学習を行っています。「摘果」「袋掛け」「除草」「収穫」の工程を体験し、梨栽培にかける強い願いや思いを感じています。

収穫した梨は、「事故なし（梨）キャンペーン」として自分たちが手作りしたパンフレットと一緒に、学校下の交差点で配布をしました。

6年生では、この時の活動をもとに、修学旅行で、「PR 活動」を行いました。

《成果》

この活動を通して、学習を支えてくれる地域の方に感謝の気持ちを持ったり、自分たちの活動が新聞などで取り上げられたりすることで、地域の役に立っているという自己有用感を感じ、地域の自慢として、修学旅行でも、PRのテーマとすることができた。

《課題》

当該学年で完結してしまうので、収穫した梨を使っの学校全体での活動の工夫を行いたい。

収穫した梨を持って、近隣の施設に訪問するなど、対外的な活動にも広げていきたい。

こんな
活動です

ボッチャしようぜ。

関係する学校名

清里小学校

連携・協力団体等

清里地区協議会 PTA

活動内容・特徴や工夫等



6年生の学年PTA活動の学年キャンプでの取組です。

地区協議会のスポーツ推進委員の方からの提案で、ニュースポーツの「ボッチャ」の体験をしました。推進委員の方のご指導いただきながら、児童、家族の皆さん、職員も熱戦を繰り広げました。みんなで、思い思いに声をかけながら、いい汗をかくことができました。

《成果》

地区協議会とのつながりもでき、PTA活動の内容をより、充実することができた。家族以外の大人の人と触れ合うことで、たくさんの人たちからのサポートを受けて、学校生活を送ることができていることを感じるきっかけづくりとなった。

《課題》

この学年だけでの取組となったので、学校の活動の中にも推進委員さんを招いての体験活動を計画し、学校全体に広げていきたい。